

気候情報

2010年2月の日本の天候

- 全国的に気温の変動が大きかった
- 下旬には全国各地で記録的な高温
- 日本海側の一部では上旬に大雪

2月の天気概況

月のはじめと中頃に寒気の影響で一時的に低温となったが、上旬後半と下旬には南からの暖かい空気が流れ込んで全国的に気温が高くなり、気温の変動が大きかった。また、太平洋側では東日本を中心に低気圧や前線の影響で平年に比べ曇りや雨または雪の日が多く、東京では雪を観測した日数が10日におよび、26年ぶりの多さとなった。

上旬前半は非常に強い寒気が流れ込んだため、北日本では顕著な低温になるとともに北陸地方では降雪量が多くなり、新潟市では26年ぶりに積雪が80cmを超えた（5日に81cmを観測）。上旬の終わり以降は、冬型の気圧配置が長続きしなかった。中旬は前線を伴った低気圧が日本付近を頻繁に通過したため全国的に曇りや雨または雪の日が多く、気温および日照時間が平年を下回った。下旬は一転して全国的に暖かい日が多くなり、25日を中心に多くの地点で2月の日最高気温の高い記録を更新するなど、全国で旬平均気温がかなり高かった。

上旬：北・東・西日本では、1日から2日にかけては本州南岸を低気圧が通過したため太平洋側でも雪や雨が降った。その後、中頃までは冬型の気圧配置が続く、日本海側では曇りや雪、太平洋側では概ね晴れたが、5日から6日にかけては非常に強い寒気を伴った低気圧が通過したため、北日本では大荒れの天気になるとともに顕著な低温となった。終わりは気圧の谷の影響により広い範囲で曇りや雨となったが、南よりの暖かい空気が流れ込んだため西日本を中心に顕著な高温になった。沖縄・奄美では前線や寒気の影響で曇りや雨の日が多かった。

中旬：11日は低気圧の通過により、九州南部・奄美地方で春一番を観測した。その後も前線を伴った低気圧が日本付近を次々に通過し、通過後の寒気の流入も影響して、全国的に曇りや雨または雪の日が多かった。

下旬：22日は低気圧の通過により、北陸地方で春一番を観測するとともに九州南部・奄美・沖縄地方を中心にまとまった雨の降った所もあったが、前半4日間は全国的に高気圧に覆われて晴れの暖かい日が多かった。後半は前線を伴った低気圧の影響で全国的に曇り

や雨または雪の日が多く、25日には九州北部・四国・中国・関東の各地方で春一番を観測した。

2月の気候統計

月平均気温：西日本と沖縄・奄美でかなり高く、東日本で高かった。特に西日本では平年を2℃以上上回ったところが多かった。北日本では平年並だった。なお、全国的に気温の変動が大きかった。

月降水量：東日本から沖縄・奄美にかけて多かった。北日本では平年並だった。

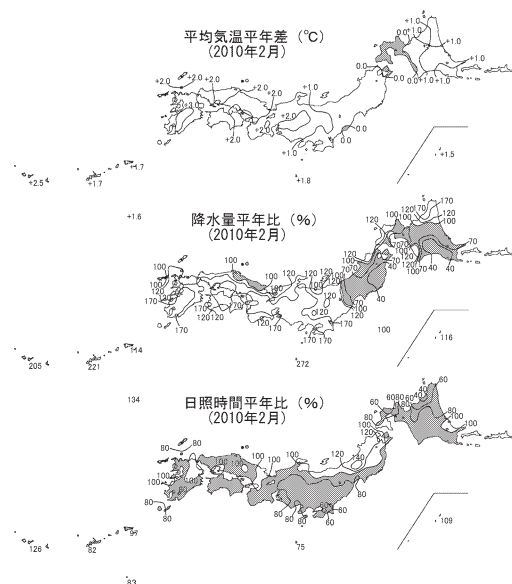
月間日照時間：北海道日本海側・オホーツク側、東北太平洋側および東日本太平洋側でかなり少なく、西日本太平洋側で少なかった。一方、東北日本海側では多かった。北海道太平洋側、東日本から西日本にかけての日本海側および沖縄・奄美では平年並だった。

降雪・積雪：降雪の深さ月合計は、西日本日本海側でかなり少なく、北日本日本海側で少なかった、東日本日本海側では平年並だった。月最深積雪は、東日本日本海側で平年を上回るところが多かったが、北日本日本海側、西日本日本海側では平年を下回るところが多かった。（気象庁観測部統計室）

2月の記録（1位更新のみ）

- ・月降水量多い方から（mm）
富山 338.5
- ・月間日照時間少ない方から（時間）
羽幌 34.5 岐阜 111.1

2010年2月の平年差（比）図



注) 陰影の部分は、平年より低い（少ない）地域を示す。